

平成26年度

練馬区立光が丘第三中学校

# 光が丘三中だより

第3号

URL <http://www.hikarigaoka3-j.nerima-tyky.ed.jp/>

平成26年7月10日

## 世界が日本をウォッチングー恥の文化ー

校長 室賀 薫

サッカーワールドカップでは日本が早々に敗退しましたが、日本人サポーターが試合後スタジアムを清掃している姿が世界中で報道されました。がっかりしていた多くの日本人がこの報道で随分と慰められました。ところがその数日後、東京都議会での情けなくなるようなヤジが報道され、礼儀正しい日本人のイメージは一変、お粗末極まりない日本人といったイメージが海外メディアで報じられました。さらにその数日後には、謝罪会見での号泣騒ぎが英国で面白おかしく報じられイメージダウンに拍車がかかりました。

東日本大震災のときに、大災害にもかかわらず日本人は整然と取り乱さず、節度を持って礼儀正しく行動すると世界から絶賛されました。しかし、一部とはいえ奇異な行動や、品のない行動をとる人がいると、日本人全体のイメージがその一部の人の行動で極端に下がってしまうのは残念至極です。

校外学習に出かけるときに、私はいつも生徒に「光三中の看板を背負っていることを忘れないで」と話しています。F組は、先月移動教室でベルデ軽井沢を中心に4日間様々な場所を訪問しました。また、2年生は先週都内めぐりの校外学習を行いました。浅草では外国人のほうむしろ多いぐらいの中、光三中の制服を着て班行動を行いました。外国の人たちには、日本の中学生がどのように映ったのでしょうか？

男女仲良く地図を見ながら班行動している生徒。シャツが出てだらしない生徒。電車の中でお年寄りに席を譲る生徒。お菓子を食べながら歩く生徒。

光が丘でも、様々な光景に出会います。泣いている小さい子にやさしく声をかける人。自転車の二人乗りをしている人。お年寄りの荷物を持ってあげる人。止めてはいけないところに駐輪する人。道路や公園の清掃をしている人にねぎらいの声をかける人。

学校内でも様々な光景が・・・廊下ですれ違くと礼儀正しくあいさつをする生徒。大慌てで廊下や階段を走り去る生徒。職員室できちんと用件を言って入室する生徒。

私たちの文化を“恥の文化”といった文化人類学者がいました。周囲からどのように見られるかをとても気にする日本人。小心者ともいえますが、良くあろうとするその姿勢は、決して悪いことではありません。自分を律するひとつの方法として、あらためて気にしてみたいことです。

**重要！**

### 台風接近に伴う対応について

台風8号の接近に伴い、練馬区教育委員会では11日(金)、12日(土)について次のように対応することとしました。

【当該日の午前6時から午前7時の間 練馬区に特別警報または暴風警報が発表されている場合、学校は臨時休校とします。】(気象庁のホームページ等からご確認ください。)

尚、学校としては、7:30に学校連絡メール、学校ホームページにて対応措置を発表連絡いたします。